



県内大会の200m走での1コマです

平成25年10月12〜14日の3日間、東京都にて全国障害者スポーツ大会が開催されました。今回足羽学園から、嶺北特別支援学校に通う松本樹稀しゅきさんが、同大会に出場されました。

普段の松本さんは、シャイで人にあいさつをすることが苦手で、時間にルーズな部分があります。そんな松本さんが全国大会への出場を経て成長した様子についてご紹介します。



ホップ+

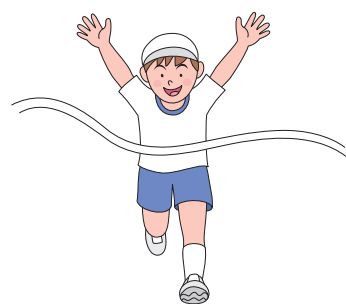
〜県内大会を経て〜

平成25年6月8日に、福井県障害者スポーツ大会が開催され、松本さんは嶺北特別支援学校の選手として出場しました。出場した競技は、200m走、4×100mリレーでした。福井県内の特別支援学校の選りすぐりの選手が出場していましたが、松本さんは200m走で堂々たる1位になったのです！

県内大会を経て、1位という輝かしい成績を残した松本さんは、その後全国大会への切符を手に入れました。

ステップ+

〜練習開始〜



授業や部活動、行事などがあり、なかなか練習が始められずにいる中、100m走、200m走、4×100mリレーの、計3競技に出場することが決まり、2学期から練習が始まりました。初めての練習当日のことです。職員は練習に遅れないように、と気持ちがあつていました。しかし当の本人は、先生がお迎えに来られる時間までテレビを観て、先生が来られてから練習の準備をするなど、福井県を代表する選手に選ばれたことなげに気にも留めていないような様子でした。

そんな松本さんを担当する阪口保育士はどのように感じていたのでしょうか？話を聞いてみました。



理事長室で壮行会がありました

全国障害者スポーツ大会の出場に向けた練習が始まり、松本さんは日を追うごとに、洗濯や掃除といった基本的なことを、きちんとやらなければいけないという気持ちが出てきたように感じました。全国大会では、好成績を残してやることだけでなく、他の選手の礼儀やマナーも実際に見て学び、今後の生活に活かして行っていただきたいですね。

ジャンプ
〜全国大会へ〜

平成25年10月10日に福井県庁にて団結式を行い、いざ開催地東京都へ出発しました。

現地での様子について、練習のときから引率していただいていた、嶺北特別支援学校の門先生にお話を伺いました。



大きな競技場にビックリ!!

現地に行くとき自分の出場競技への思いも高まり、メダルが欲しいという気持ちが出てきて、福井県にいるときよりも積極的に陸上競技に取り組む姿勢が見られました。福井県テントから競技場へ向かうときも「今から競技に行つてきます」と大きい声で言うて行くことができました。また、今回の大会を通して、同年代の選手や他校の先生、県障害者スポーツ指導者協議会の方々、東京都職員のボランティアの方々、都内の学生ボランティアの方々などいろいろな人たちと出会い過ごした中で、初対面の人たちとのコミュニケーションがうまくとれるようになりました。人との接し方やかわり方も学び、普段学校では見たことのないような笑顔や他校の生徒と大声を出して笑いながらしゃいで遊ぶ様子が見られ、以前よりも明るくなった気がします。



テント内でまったりと(^^)

今回松本さんは、全国大会に向かつて駆け抜け、入賞はならなかったものの、自己ベストタイムを出すことができました。その話を聞いた他の利用者の方自身何かを感じとってくださったのではないかと信じています。利用者の方同士で与え合う影響、それに伴う成長を今後も見守ってまいります。

